

であいこうか

DEAI 21 KOKA
地域で活躍されている元気な方を紹介するコーナーです。

甲賀健康医療専門学校
宮田 和希さん



努力で素質開花、プロでの活躍を

10月30日に行われた、プロ野球ドラフト会議で埼玉西武ライオンズから指名を受けた甲賀健康医療専門学校の宮田和希投手。大阪府出身で、高校時代は目立った実績はなかったものの、その素質に惚れ込んだ同校藤本監督の熱心な勧誘で入学、プロをめざしての本格的な練習に取り組みました。

宮田投手の持ち味は、MAX144キロに達するストリート、182センチの長身から投げ下ろす角度のある速球。三振を取る本格派投手です。恵まれた身体、癖のない投げ方、冷静な投手術など、投手としての素質を備えた宮田投手、その将来性を見込んで、西武球団からの指名となりました。「入学して1年半、集中してや



宮田投手のダイナミックな投球。ういう結果となりうれしい。これまでこれたのもいろんな人の支えがあったからこそ、この感謝の気持ちを忘れずに努力していきたい。」と話す宮田投手。目標とする投手は、同じ左腕の横浜ベイスターズの工藤投手だそう。工藤投手のような長い間一線級で活躍できる、そんな宮田投手の誕生に期待です。



市役所を訪問、中嶋市長に決意を述べる宮田投手

親子で育林100年

～大原小学校愛林活動～

大原小学校では「子どもが植え、親が育てる」を合言葉に、114年にもわたり育林活動が続けられています。

今年も3月に、6年生47名が1人10本ずつヒノキの苗木を植樹。それらが大きく育つように、10月19日には全校児童の保護者約200名が下草刈りや大きくなった樹木の枝打ちを行いました。

これまで学校緑化コンクール学校林等活動の部で、国土緑化推進機構理事長賞を2度受賞している同校。親と子、地域の人々がともに汗を流す育林活動は、自然を愛し、命を大切に



全校児童の保護者による育林作業

を愛し、命を大切にすることを育む取り組みとして、今後も引き継がれていくことでしょう。

11月2日、3日、信楽にある田代高原の郷で恒例となった案山子まつりが開催されました。このまつりは、地域の元気を取り戻そうと田代高原の郷管理組合が5年前から開催しているもので、今年49体のユニークなかかしが集まりました。農作業をする男性やアニメ映画の主人公「ポニョ」、あしたのジョーの矢吹丈など趣向を凝らしたかかしが来場者をお出迎えしました。かかしの横で記念写真を撮られる方やかかしと同じポーズをとられる方など皆さん思い思いに案山子まつりを楽しんでいたようです。



ユーモラスな表情をじっくり観察する来場者

私たちが描いた「きゅうきゅう」、バスで巡回

～救急キャンペーン号出発～

救急をテーマに子どもたちが描いた「きゅうきゅうの絵」、甲賀広域行政組合甲南消防署が作品を募集し、多くの作品が集まりました。この中の入賞作品がコミュニティバスに貼り付けられた「救急キャンペーン号」ができあがり、10月18日に市役所甲南庁舎で出発式が行われました。

画用紙に元気よく描かれた消防車や救急車がコミュニティバスとともに市内を巡回、多くの方に救急業務の大切さをPRすることができました。



救急キャンペーン号と入賞者の皆さん

ナイスショット、日頃の腕前を發揮

～第3回甲賀市民チャリティーゴルフ大会～

10月14日、甲賀町の富士スタジアムゴルフ倶楽部で市ゴルフ協会主催による、第3回甲賀市民チャリティーゴルフ大会が開催されました。

この日は、あいにくの空模様でしたが164人が参加、腕前を競い親睦を深めました。

また、同大会で集められた募金30万円が、ゴルフ協会種村直道会長から、青少年育成のために、市に贈られました。



中嶋市長へ募金を手渡す種村会長

参加して知る、思いやりの心

～ふれ愛フェスタへ向け、水口小学校～

寄稿◎まちかど特派員 菊池滋美

「障がいのあるなしにかかわらずイベントに参加して楽しもう」という目的で、12月6日(土)、水口社会福祉センターでふれ愛フェスタ2008が開催されます。水口小学校では、「地域のいろいろな人とふれあうきっかけになれば」と、児童や保護者の方に参加を呼びかけ、いくつかのクラブが出し物や出店の準備をされています。

ました。たくさん売れるといいですね。皆さんも、ぜひかわいいお店をのぞいてみてください。私は、障がいを持つ当事者として、子ども達が少しずつ思いやりの心をはぐくんできてくれることをとて、もうれしく思います。



細かい手作業でアクセサリを作成する児童の皆さん

ユニークなかかしが勢ぞろい

～案山子まつり～